

## 2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	身体障害治療学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4)
対 象 学 年	昼間部2年	学期及び曜時限	後期	教室名	802教室
担当教員	三田 直人				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。</p> <p>【資格】 音楽健康指導士 準2級 地域音楽コーディネーター</p>				
《授業科目における学習内容》					
<p>運動器・難病リハビリテーション対象者などの病態・障害像を学習する。 運動器・難病リハビリテーション対象者などの評価と目標設定について学習する。 運動器・難病リハビリテーション対象者などの治療・訓練・指導・援助について学習する。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
<p>定期試験 小テスト レポート</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
標準作業療法 身体機能作業療法学 第4版					
《授業外における学習方法》					
<p>GIO: 作業療法対象疾患の作業療法介入について説明できる。 SBO: 作業療法対象疾患についての病態・障害像と評価・目標設定について説明できる。 作業療法対象疾患についての治療・訓練・援助・指導について説明できる。</p>					
《履修に当たっての留意点》					
病態を解剖・生理学を復習しながら理解していく。覚える内容が多い科目になりますので授業ごとに小テストを実施する。勉強して臨むこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	CVAのADL評価について説明できる	教科書	CVAについての疾患をイメージできるように復習	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、ハンドセラピー評価			
第2回	授業を通じての到達目標	関節リウマチの病態と評価について説明できる	教科書	(予習課題) 関節構造について復習する	
	各コマにおける授業予定	関節リウマチの病態と評価			
第3回	授業を通じての到達目標	ハンドセラピーについての評価が説明できる	教科書	(予習課題) 運動学の肘関節から手指までの運動学	
	各コマにおける授業予定	ハンドセラピー評価			
第4回	授業を通じての到達目標	関節リウマチのADLと作業療法について説明できる	教科書	(予習課題) 関節構造と手内在筋について復習	
	各コマにおける授業予定	関節リウマチのADLと作業療法			
第5回	授業を通じての到達目標	橈骨遠位端骨折の評価と治療が説明できる	教科書	(予習課題) 関節構造と手内在筋について復習	
	各コマにおける授業予定	橈骨遠位端骨折を中心に			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	関節リウマチのADLと作業療法について説明できる	教科書	(予習課題) 関節構造と手内在筋について復習
	各コマにおける授業予定	関節リウマチのADLと作業療法		
第7回	授業を通じての到達目標	大腿骨頸部骨折についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 運動学の股関節
	各コマにおける授業予定	大腿骨頸部骨折		
第8回	授業を通じての到達目標	ギランバレー症候群についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 末梢神経について復習
	各コマにおける授業予定	難病・ギランバレー症候群		
第9回	授業を通じての到達目標	についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 教科書を読む
	各コマにおける授業予定	大腿骨頸部骨折		
第10回	授業を通じての到達目標	についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 中枢神経について復習
	各コマにおける授業予定	難病・多発性硬化症		
第11回	授業を通じての到達目標	筋萎縮性側索硬化症についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 中枢神経、末梢神経について復習
	各コマにおける授業予定	難病・筋萎縮性側索硬化症		
第12回	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 小脳について復習
	各コマにおける授業予定	難病・脊髄小脳変性症		
第13回	授業を通じての到達目標	についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 手関節から手指までの運動学
	各コマにおける授業予定	末梢神経損傷(橈原)		
第14回	授業を通じての到達目標	頸椎損傷の病態について説明できる	教科書	(予習課題) 手関節から手指までの運動学
	各コマにおける授業予定	小テスト① 頸椎損傷の病態		
第15回	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 手関節から手指までの運動学
	各コマにおける授業予定	末梢神経損傷		

2023 年度 授業計画(シラバス)

2023	作業療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	身体障害治療学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	昼間部2年	学期及び曜時限	後期 月2・金3	教室名	802
担当教員	三田 直人				
実務経験と その関連資格	<p>【実務経験】 作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。</p> <p>【資格】 音楽健康指導士 準2級 地域音楽コーディネーター</p>				
《授業科目における学習内容》					
<p>運動器・難病リハビリテーション対象者などの病態・障害像を学習する。 運動器・難病リハビリテーション対象者などの評価と目標設定について学習する。 運動器・難病リハビリテーション対象者などの治療・訓練・指導・援助について学習する。</p>					
《成績評価の方法と基準》					
<p>定期試験 小テスト レポート</p>					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版 (医学書院)					
《授業外における学習方法》					
<p>GIO: 作業療法対象疾患の作業療法介入について説明できる。 SBO: 作業療法対象疾患についての病態・障害像と評価・目標設定について説明できる。 作業療法対象疾患についての治療・訓練・援助・指導について説明できる。</p>					
《履修に当たっての留意点》					
病態を解剖・生理学を復習しながら理解していく。覚える内容が多い科目になりますので授業ごとに小テストを実施する。勉強して臨むこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	頸椎損傷の病態について説明できる	教科書	(予習課題) 脊髄について予習	
	各コマにおける授業予定	頸髄損傷の病態			
第17回	授業を通じての到達目標	腱損傷についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 手関節から手指までの運動学	
	各コマにおける授業予定	腱損傷:基礎編			
第18回	授業を通じての到達目標	腱損傷についての評価・治療が説明できる	教科書	(予習課題) 腱損傷の基礎編を復習	
	各コマにおける授業予定	腱損傷			
第19回	授業を通じての到達目標	頸椎損傷の評価が説明できる	教科書	(予習課題) 脊髄について予習	
	各コマにおける授業予定	頸髄損傷の評価			
第20回	授業を通じての到達目標	頸椎損傷の評価が説明できる	教科書	(予習課題) 脊髄について予習	
	各コマにおける授業予定	頸髄損傷の評価			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の治療が説明できる	教科書	(予習課題) 脊髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	頰髄損傷の治療		
第22回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の治療が説明できる	教科書	(予習課題) 脊髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	頰髄損傷の治療		
第23回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の評価が実施できる	教科書	(予習課題) 頰髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	小テスト② 頰髄損傷評価準備		
第24回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の評価が実施できる	教科書	(予習課題) 頰髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷当事者(評価とADL)		
第25回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の評価が実施できる	教科書	(予習課題) 頰髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷当事者(評価とADL)		
第26回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の評価が実施できる	教科書	(予習課題) 頰髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷当事者(評価とADL)		
第27回	授業を通じての到達目標	頰椎損傷の評価が実施できる	教科書	(予習課題) 頰髄損傷の評価を復習
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷当事者(評価とADL)		
第28回	授業を通じての到達目標	呼吸疾患の病態が説明できる	教科書	(予習課題) 呼吸生理について予習
	各コマにおける授業予定	呼吸器疾患の基礎		
第29回	授業を通じての到達目標	呼吸疾患の評価が説明できる	教科書	(予習課題) 呼吸生理について予習
	各コマにおける授業予定	呼吸器疾患の評価		
第30回	授業を通じての到達目標	呼吸疾患の治療が説明できる	教科書	(予習課題) 循環器の評価を復習
	各コマにおける授業予定	循環器疾患のリハ		